

名古屋大学 エネルギー問題研究会 エネルギーマネジメント研究・検討会
 平成 17 年度 エネルギーに関する文理融合研究合同成果報告会
名大発 - 省エネ推進と地球温暖化防止

地球温暖化防止のための国際協定である京都議定書が発効し、日本は 2008 年からの 5 年間で二酸化炭素など温室効果ガスを 1990 年比 6%削減という義務を負うことになりました。すでに企業や地方公共団体等では地球温暖化防止に向けた独自の取組を進めており、大学も決してこの例外ではありません。

名古屋大学では他大学に先行し、地球温暖化対策計画を策定し、エネルギー問題研究会およびエネルギーマネジメント研究・検討委員会を立ち上げ、積極的に学内における省エネルギー対策の実施に向けた検討を実施して参りました。昨年度からエコトピア科学研究所長(機構長)裁量研究経費を、さらに本年度は総長裁量研究経費を受け、部局間の枠を超えた教員ならびに事務職員を交えた研究会を重ねることで、理系、文系、事務系、技術系のアイデアと経験を持ち寄り、実証データに立脚した省エネ対策の指針の策定と実施に努めて参りました。

今回の合同成果報告会では、エネルギー問題研究会およびエネルギーマネジメント研究・検討委員会で進めてきた研究の成果をご覧いただき、ご来場の皆様との議論を深めることにより、名大発の地球温暖化対策を広く社会と共有致したく、そのあり方を共に考え、実践する機会としたいと考えております。

開催日：平成 18 年 3 月 10 日(金) 13:00 - 17:00

場 所：名古屋大学経済学研究科第一講義室(空気搅拌ファンによる空調効率化プロジェクト実験サイト)

【交通案内】 地下鉄名城線名古屋大学駅 1 出口 出て右正面建物からお入り下さい。

【プログラム】

13:00 - 13:05	報告会開催にあたって	進行：田中英紀・加藤丈佳 杉浦 康夫(施設整備担当理事・副総長)
13:05 - 14:40	エネルギー問題研究会、研究成果報告	
	研究会の設置と活動内容について	北川 邦行(エコトピア科学研究所教授)
	「LED 照明における省エネの基礎検討」	北川 邦行(前出)
		松浪 有高(全学技術センター技術員)
	「LED による面発光パネル」	森 幸一((株)東洋テクニカ代表取締役)
	「追設凝縮器による空調機の高効率運転」	長谷川達也(エコトピア科学研究所教授)
	「中低温廃熱の回収と有効利用技術」	小林 敬幸(エコトピア科学研究所助教授)
		中川 二彦(エコトピア科学研究所客員教授)
14:40 - 14:55	《 休 憩 》	
14:55 - 16:40	エネルギーマネジメント研究・検討会、研究成果報告	
	研究・検討会の設置と活動内容について	荒山 裕行(経済学研究科教授)
	「電力消費の節約可能性に関する意識調査と	荒山 裕行(前出)
	空気搅拌による空調効率改善効果の検証」	藤丸 隆志(施設管理部施設管理課)
	「学内エネルギー需要分析と各種省エネ方策の効果検討」	加藤 丈佳(工学研究科助教授)
		熊沢 正幸(全学技術センター専門技術職員)
	「省エネ行動促進のための介入手法検討」	唐沢かおり(環境学研究科助教授)
		元吉 忠寛(教育発達科学研究科助手)
	「個別空調における遠隔監視の省エネ効果」	荒山 裕行(前出)
		田中 英紀(施設計画推進室助手)
	「大学のエネルギーマネジメントの現状について」	加藤 好孝(施設管理部施設管理課長)
16:40 - 16:45	まとめ	荒山 裕行(前出)
16:45	閉会の辞	山口 博行(施設管理部長)
	《 情 報 交 換 会 》	
17:10 -	挨拶	林 達也(全学技術センター統括技術長)

主催：名古屋大学 エネルギー問題研究会 エネルギーマネジメント研究・検討会

共催：名古屋大学エコトピア科学研究所・経済学研究科